

## 授業科目

## セクシュアリティ看護学概論

担当教員名 塚本 康子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

## 授業の概要

セクシュアリティ、リプロダクティブヘルスを護り支える看護について、その概要を学んでいく。ヒトの発生、胎児の成長過程、胎児の能力から、成熟期の生殖器の構造と機能、出産をめぐる変遷と母子保健の動向、看護の基礎理論として母子関係、役割獲得理論を理解する。また、看護者としてライフサイクルにおける女性の健康問題とリプロダクティブヘルスカアを学び、これらをとおして自己のリプロダクティブヘルスについて考察していく。

## 授業の目的

セクシュアリティを護り支える看護を考究していくために、セクシュアリティの概念や最新の動向と問題を検討する。また、看護を展開していくときに必要な基礎的理論として、親子関係、母子関係について学び、看護の果たすべき役割と機能について考察する。

## 学習目標

1. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルスの概念を説明できる。
2. ヒトの発生と胎児の成長について説明できる。
3. 生殖器の形態と構造、性機能、性周期について説明できる。
4. 出産をめぐる歴史的変遷と動向について説明できる。
5. 基礎的理論として、親子関係、母子関係について説明できる。
6. 女性のライフサイクルにおける健康問題を理解できる。
7. リプロダクティブヘルスカアとして、家族計画と性感染症を理解できる。
8. 母性看護に使われる看護技術を理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ヒトの発生と胎児の成長	講義	塚本 康子
2	人間の性と生殖の概念、性周期	講義	塚本 康子
3	セクシュアリティとリプロダクティブヘルスの概念、母性看護の特性	講義	塚本 康子
4	出産をめぐる歴史的変遷と動向	講義	塚本 康子
5	基礎的理論－親子関係、母子関係	講義	塚本 康子
6	女性のライフサイクルにおける健康問題	講義	塚本 康子
7	リプロダクティブヘルスカア－家族計画・性感染症	講義	塚本 康子
8	母性看護に使われる看護技術	講義	塚本 康子 他

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論	森 恵美、高橋 真理、工藤 美子	医学書院	2016年	2,400円	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

定期試験50点、レポート課題50点。

## 履修上の留意点

たくさん文献を読みましょう。

## オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー 月・火曜日 12時半～13時

連絡先 メールアドレス tukamoto@nuhw.ac.jp 授業に関する質問はメールでお尋ね下さい。